

議事録

会議名：第23回中四国学生剣道連盟理事会

- 日時：2006年8月26日PM1時31分より
- 場所：岡山大学・大学会館・1Fホール
- 構成員：33名
- 参加者：産賀敏彦、大森博之、小倉 肇、木谷直俊、渡辺道徳、三浦利雅、森 正典、榊 康守、木原資裕、草間益良夫、山神眞一、石井博貞、境 英俊、竹内善一、香川直己、作下隆明、山下真季、川筋雄作、高橋経範、山崎史暁、岡崎啓史、井上朋美、山本直樹、野亀浩誉、金井翔之、松本晴也、山口正貴、渡邊浩通、吉村大樹（以下委任状により出席と見做す）湯村正仁（1時間遅刻）、橋本健蔵、山口大二郎、山田直宏以上33名、 欠席者：0名
オブザーバーとして、村井慎治

上記の通り、全体の3分の2以上の出席があった為、本会議は適法に成立した。
慣例に倣い会長の産賀敏彦を議長として議事が進められた。

● 記 録

氏名：岡崎啓史

E-mail：information@tyushi.com（不明点はこちらへ）

Summary：

- 議題1：第22回理事会議事録確認
- 議題2：平成17年度決算ならびに平成18年度予算案
- 議題3：中四幹事会報告
- 議題4：全日常任理事会報告
- 議題5：新人戦審判長について
- 議題6：次回リーゼミ企画案&平成19年度行事予定
- 議題7：剣友会の報告
- 議題8：全日学連規約改正について
- 議題9：全剣連「剣道有功賞」について
- 議題10：先輩理事改選
- 議題11：その他

1. 第22回理事会議事録確認

構成員及び参加者人数が修正されて、第22回理事会議事録を異議なく承認した。

2. 平成17年度決算ならびに平成18年度予算案

報告者：石井博貞

(1)17年度の決算について

- ・登録人数の減少傾向が見られる。
- ・リーゼミ役員宿泊費が0なのは？…学生宿泊費と合算しているため。

決算原案は承認された。

(2)予算案について

- ・リーゼミは場所が未確定で予算案が出せる状況ではないが、今度の新人戦の理事会の時に新人戦の予算案もあわせて修正する。
- ・来年の優勝大会は9月2日に行う予定であったが8月26日桃太郎アリーナで行う予定。会場費は浦安の体育館より安いが、冷房が前年の2倍なので30万の予算を組んだ。
- ・ガソリン代の値上がりで交通費に影響大である。
- ・来年の優勝大会は7試合場で可能と考えている。

予算案は原案の通り承認された。

3. 中四幹事会報告

報告者：作下隆明

- ・全日本学生剣道選手権大会の結果報告、中四国の今後の大会について、来年度リーゼミについて討議を行い、その後、優勝大会抽選会を行った。

4&8. 全日常任理事会報告及び全日学連規約改正について

報告者：作下隆明

報告者：草間益良夫

(1)第1回全日本学生剣道連盟常任理事会の報告

連盟規約改正修正事項の確認

①第10条、卒業生代表理事は会長が理事会の同意を得てこれを委嘱(原文)→会長が理事会の推薦を得てこれを委嘱(改正案)

→理事会は会長の指示によって動いているので代表理事は会長が指名する形が望ましいという見解。(補足：会長が決めるのではなく理事会の提案としてが決めるほうがいいのではないか、という意見から改正案が出た)

⇒問題なく承認した。

②第 20 条 4 項、学生剣道の健全な発展のため規律委員会を総務委員会のもとにおき各専門委員会・委員長をもって構成する→各地域連盟のから選出された卒業生規律委員 1 名と学生規律委員 1 名を以て構成。

→同じ日に会議があると会議が機能しないので別に委員会を置いたほうが。構成員が機能せず、他の会議と重なり実際は審議できていないのが実情なので改正が必要。各連盟に任された。

(中四としての意見)

→・時間をずらして会議を行えば新しく委員を出す必要は無いのではないか。(草間)
・全く新しいメンバーを出しても戸惑ってしまう可能性があるから従来どおりでいい(木原)
・この 1 年間規律委員会はいつあったのか?(小倉)→4 年前にあった(草間)
⇒従来のみで時間帯をずらして会議を行い、新しく委員を出す必要は無いことで意見が一致した。

(2)事業委員会報告

選手権大会に第 1 回全日本女子学生剣道東西対抗試合を加え、2 日間開催とし向こう 3 年間をめどに関西連盟主管で行う。したがって優勝大会は関東連盟主管で行うとして承認を求めた。そのことは持ち帰って検討するように。

(補足：現在どのようにするかまでは決定していないが、2 日間開催を前提にして話が進んでいる。前から報告があったが今回決定したい。)

草間：選手権 2 日間開催についての説明。

選手数を半分にして試合を減らすという案から。選手人数を減らして欲しくないので 2 日間開催にして欲しいという意見が連盟から出た。

2 日間開催は関西ではスムーズにできる。

関東では会場を変えれば 2 日間開催もできるが、まず 3 年間場所を固定して関西で試してみても関東でも開催できるいい方法を検討。

石井：開会式は何時?

草間：午前中会議をやって昼から開会式と、金曜日に会議して土曜の朝からの 2 つ。午前中から開始すると初日の最後に東西対抗。昼からすると 2 日目の午後、今までどおり。まだ開会式の時間は決まっていない。

石井：金曜からすると役員が制約されてしまう。昼からか。宿泊費用などは?

草間：旅費交通費はどうなるかわからないが、とりあえず試合コートを減らすことが目的。

小倉：関東と関西の主管がやる気になっているので中四は協力する方向で。

⇒承認された

(3)事業委員長より、代表者会議に出席する連盟の代表者を明確にするべきとの指摘。
審判委員長より、監督者会議も定例的に行うようにとの要請。→大会前日の時間を調整して次回の男女の全日大会より前日会議は代表者会議と監督者会議を区分して行うと決定。

(4)審判委員会の報告

関西地区の審判講習会は吹田市吹田市立武道館 10月14日に変更したとの報告。
監督者会議開催の提案

(5)全日本学生剣道連盟からのお知らせ

・橋本龍太郎会長のご逝去に伴う決裁権限と今後の運営について
規約には副会長が代行するされているが決裁権者の順位は規定されていない。新会長が決まるまでの間は、副会長の間で決裁権者の順位を決めその名を代表理事・総務委員長が受け各役員に伝達。

5. 新人戦審判長について

報告者：石井博貞

(1) 広島の前年審判長七段 高橋征四郎先輩を推薦→承認された。

6. 次回リーゼミ企画案&平成19年度行事予定

報告者：榎 康守

報告者：石井博貞

(1) 平成18年度リーゼミは未定

場所は大洲、呉など、講師や日時なども次回に報告

(2) 平成19年度予定

・選手権大会 高松市総合体育館 5月20日で検討

(榎：西日から2週あけて欲しい→過去の経験上、第2週にすると京都大会及び昇段審査、松山では三浦杯大会の影響があり、また4月の第3を抽選会にすることが多い。抽選会との兼ね合いがあるので第2週又は第3週を総合的に検討する)

・優勝大会 桃太郎アリーナ(岡山市) 8月26日決定

・新人戦 広島県立総合体育館・武道場 12月第2週で検討

7. 剣友会の報告

報告者：村井慎治

(1) 7月1日、橋本龍太郎前会長危篤ご逝去の報の中で会議が行われた。ご逝去に伴い8月27日の大会開会式で黙祷をお願いしたい。

(2) 第3回全日学連剣友大会 BumB東京スポーツ文化館 平成19年3月18日
中四剣友大会(予選)に勝ちあがったチームが参加する。

(3) 第8回中四剣友大会 11月26日(日) 川崎学園総合体育館

11月25日(土) 合同稽古会 川崎学園総合体育館、

懇親会 川崎医療福祉大学レストラン

全日本男子団体5人制で予選会にはなりにくい、今までどおり3人制で。

予選は4位までは各大学1チーム内で全国大会への出場権を付与。

例年通りの方法で実施する。

要項等の書類は各大学連絡員へ橋本修二先輩から送る。

岡山大学、川崎医療福祉大学の学生へ協力を要請(日当を支給)。

9. 全剣連「剣道有功賞」について

報告者：草間益良夫

・本年度は全日本学生剣道連盟に中四国として推薦は「無し」で報告する。

各県で貢献があった方をバランス等を考慮して以後(毎年)検討してほしい。

→木原先生：剣道有功賞は各県剣連からの推薦があるので、過去(過去10年くらい)に推薦されている人が居るのでその名簿を作り、各県の資料を纏める(木原資裕を中心に)ことになる

10. 先輩理事改選

・平成18年10月1日からの先輩理事(任期3年)の改選を行った。

・各県理事の推薦1名で9名、会長推薦で3~4名、合計12~13名とすることとした。

愛媛県 渡辺道徳 辞任→矢野宏光を推薦(東海大卒) 高知県 橋本健蔵 推薦

岡山県 三浦利雅 辞任→廣畑栄三を推薦(岡山大卒) 山口県 榊 康守 推薦

徳山県 木原資裕 推薦 広島県 草間益良夫 推薦 香川県 山神眞一 推薦

鳥取県 竹内善一 推薦 島根県 境 英俊 推薦

会長推薦 森 正典、石井博貞、香川直己

以上12名(先輩構成員+会長、副会長⇒17名)を幹事会に推薦することとした。

尚、辞任された渡辺道徳並びに三浦利雅両先輩に顧問就任を依頼し、各々その就任を承諾した。

11. その他

(1) 監督代理を男女別々に届出をしたい。全日では男女大会が別である、中四では1大会で2人の監督を出すことになってしまう。

⇒全日の個人戦などでは認められているし問題無い。男女別々の監督は可能である。


(2) タビ・サポーターの確認は審判主任が行うのは負担が大きい

⇒選手の良識に任せ、注意だけ促せば良いのでは。全日では顧問医師の方にやってもらおうということも。とりあえず27日は小倉 肇が確認することになる。


以上の議事を終え、本会は午後15時03分、議長が閉会を宣言して散会した。


上記決議を明確にするため議事録をここに記す。署名人はこの議事録が正しいことを以てここに記名及び押印する。

平成 18 年 8 月 26 日

中四国学生剣道連盟 第23回理事会 

署 名 人 山 神 眞 一 

署 名 人 岡 崎 啓 史 

 次回 MTG

日 時：2006年12月9日

場 所：広島県立総合体育館・地下1F・中会議室

以上